

### ③ 防災施設の拡充

#### ●公園・広場や消防水利の拡充

身近な防災拠点である公園や広場、消防水利の不足地域を解消し、どの地域でも円滑な防災活動を行える環境整備や、既存公園にも震災時に必要な「水」「トイレ」「活動拠点施設」等の防災機能を充実させること。



#### ●井戸や雨水の活用

民間井戸の有効活用や雨水貯留施設の設置および活用するための取り組みを検討すること。



#### ●災害時における“都立第四商業高校”の有効活用

災害時における“四商”の有効活用について、関係機関との調整を行うこと。



### ④ 防災コミュニティの育成

#### ●避難拠点活動の継続や地域住民への意識啓発

避難拠点を活用した防災訓練を今後も継続し、地域の方による防災活動を活性化するために、防災活動への積極的な参加を図ること。



### 来年度以降のスケジュール（予定）

平成21年度は、防災まちづくり上での課題を検証し、課題を実現するためには、どのような整備の進め方や方法がふさわしいかの検討を行い、密集事業の整備計画（素案）・事業計画（素案）をまとめる予定です。

#### H22年度

- 密集事業の整備計画（素案）・事業計画（素案）について、地域の皆様へ説明会を開催、アンケート調査を実施します
- 説明会、アンケート調査によるご意見を受け、密集事業の整備計画（案）および事業計画（案）を作成します
- 国へ密集事業承認申請、事業承認取得

#### H23年度

### 「密集事業（※）」開始

（※）密集事業とは「密集住宅市街地整備促進事業」のことで、密集市街地を改善し、災害に強いまちを実現するために必要な道路や公園の整備、災害に強い建物への建替を支援する補助事業のことです。

#### ■お問い合わせ先

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課  
 （担当：田中、二森、竹内、星野）  
 〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 電話：03-5984-4749（直通）

編集協力：株式会社マヌ都市建築研究所

## 貫井・富士見台地区

平成22年2月 発行

# 防災まちづくりニュース 第2号

【発行】練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部東部地域まちづくり課

今回の防災まちづくりニュースでは、「検討会」での活動内容をお知らせいたします。

## まち歩きワークショップを開催しました！ ～防災の視点でまちを点検～

「貫井・富士見台地区密集事業整備計画等検討会」では、貫井・富士見台地区の防災まちづくり（詳細は、ニュース1号をご参照下さい。）の進め方について、検討を進めています。

第4回検討会では、まち歩きワークショップと題し、まちの魅力的なところや改善したいところ、防災に役立つ資源や防災上の問題点などを実際に現地で点検するために、地域の方とまち歩きを11月15日（日）に行いました。

当日は、地域の方23名（お子様も1名参加）に参加いただき、3チームに分かれて地域の点検を行いました。点検後は、意見や感想を話し合い、班ごとにまち歩き防災マップを作成しました。



▲まち歩きの様子

### 当日の様子

#### ① まちの点検

まちを歩いて、防災に役立つ資源や問題点などを発見・確認しました



消防水利があると、いざというときに地域の消防活動拠点になりそう



老朽化したブロック塀は地震で倒れると危険



民間井戸は震災時に貴重な水になりそう



生け垣はまちに緑も増えるし、震災時も安心

#### ② まち歩き防災マップの作成

班ごとに意見や感想を出し合い、防災マップを作成しました



▲各グループでマップを作成

#### ③ グループ発表

3グループが発表し、まち歩きの成果を全体で確認しました



- 参加者の声
- ・住んでいても、意識しないと気づかない点が多かった。
  - ・地域の人たちと顔を合わせることができて良かった。
  - ・防災に対する意識が強くなった。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

# 検討会の開催報告

検討会では、貫井・富士見台地区の防災まちづくりのあり方について検討を進めています。



## ■ 防災まちづくりの課題とアイデアを考えよう！ (第5回検討会・12/15開催)

これまでの検討会やまち歩きワークショップで、まちの防災上の強みや問題点を確認しました。

その成果を踏まえて、今後、貫井・富士見台地区では、どのような防災まちづくりが必要なのかについて、整備課題をまとめました。



▲当日の様子

## ■ 防災まちづくりの課題の確認と震災復興ミニ体験 (第6回検討会・1/19開催)

検討会でまとめた貫井・富士見台地区の整備課題を踏まえて整備した場合の防災上の改善効果を、災害時における火災の燃え広がり状況をシミュレーションする災害シミュレーションにより確認しました。



▲震災が起こったときに、周囲がどう行動するかを考える震災復興ミニゲームを体験



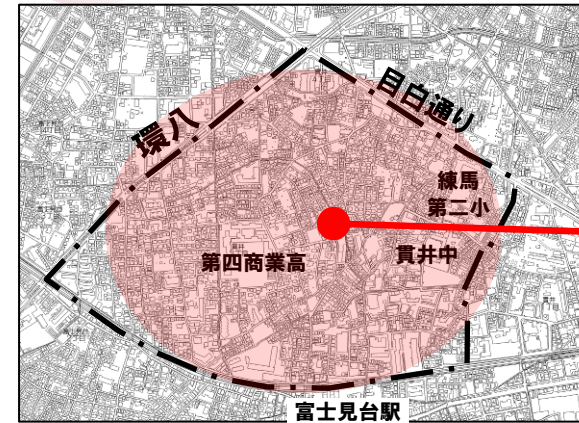
▲災害シミュレーションで道路整備や建替えの効果を確認

また、首都大学東京の市古先生を講師に招き、阪神淡路大震災での被害とまちの再建について、ビデオで確認し、災害後の「まちの復興」という視点から、今何をしておくべきかについて、話し合いました。

# 防災まちづくりの課題がみえてきました。

検討会の検討成果から、本地区の防災まちづくりで、以下のような課題がみえてきました。

## ■ 貫井・富士見台地区の区域図



- ① 防災活動を円滑にする道づくり
- ② 建物の耐震化・不燃化
- ③ 防災施設の拡充
- ④ 防災コミュニティの育成

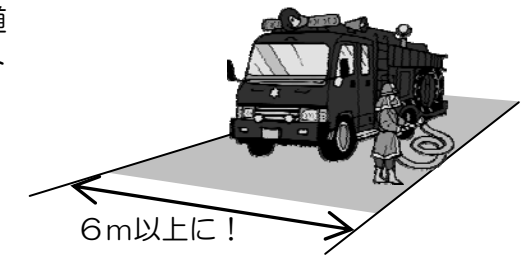
## ① 防災活動を円滑にする道づくり

### ● 防災道路ネットワークの整備

災害時の消防活動等が有効に機能するように防災上主要な道路を拡幅整備し、幹線道路と学校・公園等の防災拠点をネットワークさせること。

### ● 特に狭い細街路の重点整備

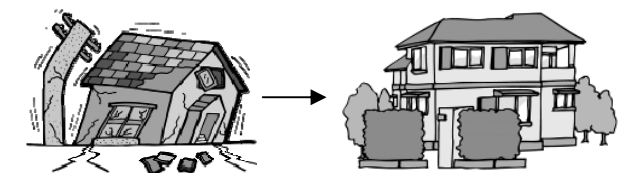
地区内の特に狭い細街路は重点整備箇所として、沿道住民や地権者の方との協議により積極的に整備を行うこと。



## ② 建物の耐震化・不燃化

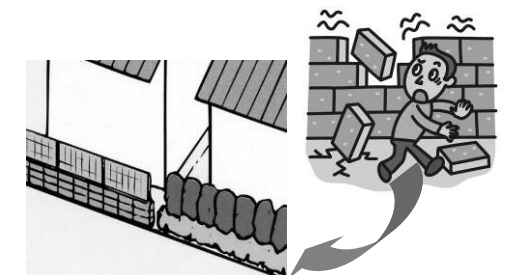
### ● 建替え時やリフォーム時における耐震化・不燃化の働きかけ

建替えやリフォーム、増築の際に、建物の耐震化や不燃化、または、古くなったブロック塀を生垣化することなどを地区全体に働きかけること。



### ● 防災道路沿道の建物の重点的な耐震化・不燃化

防災道路は、沿道の建物が倒壊せず、火災時にも安全な通行が確保されるように、沿道の建物を重点的に耐震化や不燃化させること。



...→【続きは、4ページ上へ】